

平成 21・22 年度 土木学会 第 3 回複合構造委員会

議事録

1. 日 時：平成 22 年 6 月 16 日(水) 14:05～17:15

2. 場 所：土木学会 講堂

3. 出席者：三浦顧問，横田委員長，杉浦副委員長，古市幹事長，石川委員，岩波委員（代 加藤），上平委員，大山（博）委員，街道委員，佐野委員（代 加藤），徳川委員（代 山口），中島委員，野上委員，野村委員，藤井委員，三ツ木委員，山田委員，吉田委員，池田幹事，大垣幹事，大山（理）幹事，斉藤幹事，島幹事，武知幹事，田中幹事，西崎幹事，溝江幹事，山口幹事，渡辺幹事，竹原事務局員（敬称略，計 30 名）

4. 配布資料

- 資料 委3-0 第 3 回複合構造委員会 議事次第
- 資料 委3-1 複合構造委員会（平成21，22年度）委員名簿
- 資料 委3-2 第 2 回複合構造委員会（平成21，22年度）議事録(案)
- 資料 委3-3-1 平成21年度予算執行結果
- 資料 委3-3-2 平成22年度予算(案)
- 資料 委3-3-3 調査研究拡充支援金の配分
- 資料 委3-4-1 第5回複合構造委員会幹事会議事録
- 資料 委3-4-2 第6回複合構造委員会幹事会議事録(案)
- 資料 委3-5-1 平成21年度複合構造委員会活動度個別調査書（評価項目Ⅲ）
- 資料 委3-5-2 平成21年度委員会活動度個別調査書
- 資料 委3-6 複合構造標準示方書の講習会
- 資料 委3-7-1 平成22年度全国大会研究討論会
- 資料 委3-7-2 平成22年度全国大会共通セッション
- 資料 委3-8 出版関連報告
- 資料 委3-9-0 小委員会一覧
- 資料 委3-9-1 (H101)複合構造標準示方書小委員会
- 資料 委3-9-2 (H102)FRP歩道橋設計ガイドライン小委員会
- 資料 委3-9-3 (H103)複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会
- 資料 委3-9-4 (H203)維持管理小委員会
- 資料 委3-9-5 (H205)FRPによる鋼および複合構造の補修・補強小委員会
- 資料 委3-9-6 (H206)複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会
- 資料 委3-9-7 (H207)樹脂材料による複合技術研究小委員会
- 資料 委3-9-8 (H208)FRP複合構造研究小委員会
- 資料 委3-9-9 (H209)FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会
- 資料 委3-9-10 (H210)複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会
- 資料 委3-10 土木学会論文集再編について

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

横田委員長より、開会の挨拶がなされた。

(2) 新委員紹介(資料 委 3-1)

前任者の異動に伴い新委員となった石川委員（東レ（株））、大山委員（（株）ピーエス三菱）から挨拶があった。また、佐野委員（ショーボンド建設（株））が異動に伴い、委員辞退の連絡があり、代理として加藤氏が出席されていることの説明があった。

事務局の担当者が岡田さんから竹原さんへ交代となり、竹原さんより挨拶があった。

(3) 第2回 委員会議事録(案)の確認 (資料 委 3-2)

大山幹事より、第2回委員会の議事録(案)の確認がなされ、承認された。

【審議事項】

(4) 平成 21, 22 年度複合構造委員会予算(資料 委 3-3-1, 委 3-3-2)

古市幹事長より、資料 委 3-3-1 により、平成 21 年度の予算執行状況について、予算 975,000 円に対して支出 973,506 円で残額 1,494 円であったことが報告された。

また、資料 委 3-3-2 により、平成 22 年度予算案について、学会からの配分額は 669,000 円(平成 21 年度の活動度評価が B ランクのため)、さらに調査研究拡充支援金として 325,000 円(平成 21 年度の行事開催費の収益の 75%) が追加され合計 994,000 円であること、またこの配分額に基づいた各小委員会の予算配分案について説明があった。

予算案について承認された。

(5) その他

特になし。

【報告事項】

(6) 幹事会報告 (資料 委 3-4-1, 委 3-4-2)

溝江幹事より第5回幹事会議事録、斉藤幹事より第6回幹事会議事録(案)について報告がなされた。

議事録の報告の後、横田委員長より、廃版となった(複合構造レポート 04)「英文版 複合構造物の性能照査指針(案)」について 200 部近い残部を横田委員長のところで保管しているので、国際会議等で積極的に配布して頂きたいこと、もし必要な場合には横田委員長または竹原事務局員まで連絡して頂きたいとの話があった。

(7) 平成 21 年度複合構造委員会活動度評価 (資料 委 3-5-1, 委 3-5-2)

古市幹事長より、資料委 3-5-1 により、平成 21 年度複合構造委員会活動度評価についての内容について説明があった。評価項目Ⅰは延員数 992 人、評価項目Ⅱは粗利益額 2,582 千円であり、「B」の評価結果であったことが説明された。

(8) 複合構造標準示方書の講習会 (資料 委 3-6)

田中幹事より、複合構造標準示方書の講習会について、札幌会場は「複合構造の維持管理小委員会」との合同開催で参加者 112 名であったことが報告された。また、九州(福岡)は支部主催で 11 月頃に開催を予定していることが報告された。

(9) 平成 22 年度年次学術講演会 (資料 委 3-7-1, 委 3-7-2)

古市幹事長より、今年度の年次学術講演会の研究討論会は、9/3 (金) 12 時 40 分～14 時 40 分に、「新形式複合構造物のその後」として行われることが説明された。また、共通セッションのプログラムについて、今年度は、第 I 部門と第 V 部門にもあった「複合構造」を共通セッションに集約したことが報告された。

(10) 出版関連報告 (資料 委 3-8)

武知幹事より、平成 22 年度の出版計画と、出版図書販売状況について報告がなされた。

平成 22 年度は、「複合構造物の基礎理論 (仮称)」を計画している。

出版図書の販売状況について、「複合構造標準示方書」は、発行部数 500 部に対して 5 月末時点で 485 部売上げがあり、すでに増刷されたことが報告された。

説明の後、「英文版 複合構造物の性能照査指針 (案)」の廃版の理由について質問があり、過去 3 年間の下期の販売部数をもとに判断された結果であり、「複合構造物の性能照査例」も今後絶版となる可能性があるとの説明があった。

(11) 小委員会活動報告 (資料 委 3-9-0～資料 委 3-9-10)

古市幹事長より、資料 委 3-9-0 により、小委員会一覧について説明があった。小委員会の番号を、前回の委員会の結果に基づき付けていることが報告された。

① (H101) 複合構造標準示方書小委員会 (資料 委 3-9-1)

田中連絡幹事より、活動状況として、5/20 に札幌での講習会の開催、示方書を 500 部増刷したこと、「橋梁と基礎 (9 月号)」や「5thCECAR」に複合示方書の紹介原稿を投稿したことが報告された。また、示方書の質問に対する回答や、英訳化に関するアンケート調査結果についても報告がなされた。

② (H102) FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会 (資料 委 3-9-2)

山田小委員会副委員長より、活動状況として、設計ガイドラインの原案がまとまりつつあり、設計例を今後作成し、7 月末に複合構造委員会への意見照会を予定していることが報告された。また、タイトルを「FRP 歩道橋設計・施工指針 (案)」へ変更を検討していること、講習会を平成 23 年 1 月に土木学会で開催予定であることについて報告がなされた。

その後、歩道橋の所管官庁の対応や将来の複合示方書への取り込みについて質問があり、指針は複合示方書に則ってまとめているが、実構造物への適用のニーズがあるため、まずは早い段階で指針としてまとめることを優先し、その後に検討するとの回答があった。

また、古市幹事長より、今後、幹事会での査読後に委員会での意見照会となるため、委員への協力要請がなされた。

③(H103) 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会 (資料 委 3-9-3)

大山連絡幹事より、活動状況として、書籍の執筆担当を決めて執筆開始し、今後小委員会において執筆内容に関する意見交換を行う予定であること、また計算例も載せる方向で検討していることが報告された。

その後、資料委 3-8 では「複合構造レポート」に掲載されているが、第 I 種小委員会のため「複合構造シリーズ」であることが確認された。